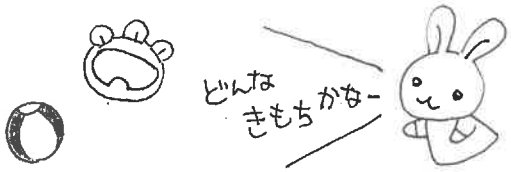
ちいさな探検のはじまり！

ねんねしていた赤ちゃんが、お座りやハイハイ、よちよち歩きをするようになると視界がグーンと広がります。『未知の世界』との出会いの始まりです！

わが子の成長がうれしい反面、「あっという間に移動するようになって、目が離せない」「つかんだものをなんでもなめちゃう」など、これまでと違う姿にハラハラしたり、驚かされたりすることも……。
大人にとっては気になるこどもの行動ですが、それは、こどもに芽生えた“気持ち”があるからなのです。

これ、なんだろう??　確かめてみたい！

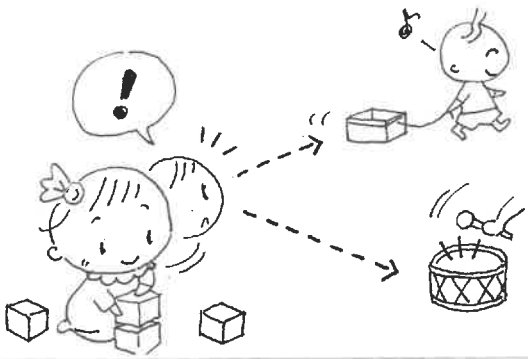


仰向けに寝ていた赤ちゃんが、うつ伏せやお座りができるようになると視線が広がり、物への興味もぐっと広がります。
見て、手を伸ばして触れて、なめて、音を聞いて、匂いを感じて…五感をフルに使って、ひとつひとつ確かめています。

行きたいところに自分で行ける！　楽しい♪

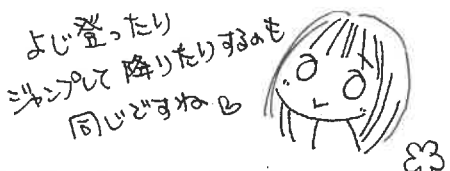
ずりばいやハイハイ、伝い歩きができるようになると「好き」に向かって一直線！ 興味が大きく広がって、見たい・知りたい気持ちがそうさせるのです。
遊び（見る・聞く・なめるなど）も移動も、ぜんぶが探検。
『知りたい』『やってみたい』が芽生え始めている証しです。

あっちにもおもしろそうなもの、発見！　行ってみよう♪



こっちで遊んでいたと思ったら、次の場所に向かって突進！
好奇心のアンテナがぴょんと反応した瞬間に、心はもう次の世界へ。
大人は「じっくりと遊べない」「落ち着きがない？」など、集中力が散漫だと思いがちですが、これは、こどもが「これがしたい」と目的をもってからだを動かす時期になったため。
こどもの「やってみたい」気持ちをたっぷり満たしてあげましょう。

全身を使った移動（ずりばい・ハイハイ・伝い歩き・歩行など）は、こどものこころを満たすだけでなく、からだの育ちも促します。



大人には「なぜ？」と思うようなことも、こどもの視点に立って考える（想像する）とおもしろい！
こどもが今、何に興味を持っているのか、どんなものが好きなのかなど、いろいろなことが見えるかも♪
安全に配慮しながら、こどもの「おもしろい」や「好き」を受け止め、「やってみたい！」を応援してあげましょう。